

COVID-19 対策が日常となった 2021 年度歯科補綴学実習の評価

細木 眞紀, 西川 泰史, 生田目 大介, 大島 正充, 井上 美穂,
小澤 彩, 新開 瑞希, Swarnalakshmi Raman, Parimal Ravindra Chavan,
吉原 靖智, 大倉 一夫, 鈴木 善貴, 松香 芳三
徳島大学大学院医歯薬学研究部

1. 要旨

COVID-19 対策を実施することが日常となり, デモンストレーション方法の変更や, 実習机へのアクリル板パーティションの設置など, 各種対策が施されている. その対策に関する学生の評価を, 学生に実施したアンケート調査結果により検討し, 今後の COVID-19 対策や実習において効果的な指導方法を探索した.

2. 緒言

我々は歯科補綴学(冠橋義歯学)の実習を担当している. 実習のわかりやすさや実習書のオンライン化の評価, 学生のニーズなどについてアンケート調査を行い, 本カンファレンスで報告するとともに, 次年度の実習に改善を加えてきた. 昨年度より影響は少なかったものの, 今年度も COVID-19 対応のため, 休講期間があり, 実習現場も感染症対策を徹底した上で, 3つの密を避けるように工夫する必要が生じていた. 本研究の目的は, 実施した実習方法の効果と今後の問題点を抽出するために, 学生に Google Forms を利用した無記名アンケート調査を行い, 効果的な指導方法について検討することである.

3. 方法

実習開始前に実習書の実習実施予定ページの印刷および準備物の把握を学生に依頼した. また, マスク・グローブ・フェイスシールド(あるいはゴーグル)を着用するように指導し, Physical distance にも十分注意を払うように指示した. パワーポイントによる実習の手順の説明後, 学生の密集を避けるために, 実習室前方で教員1名によるデモをビデオカメラで撮影し, 学生は机に配

備されたモニターで見学した. また, 自宅課題の歯型彫刻についても教員が実施する様子を manaba にアップし, 視聴し参考にするように指導した.

初回実習終了時と夏期休暇前の実習終了時に, Web によるアンケートを依頼した(倫理委員会 No. 2892). なお, 統計には SPSS Statistics v23 (SPSS Japan, 東京, 日本)を用いた.

4. 結果と考察

2021 年度の学生 45 名中初回実習終了時は 45 名(100%)の回答を得た. 夏期休暇前の実習終了時は 44 名中 43 名(97.7%)の回答を得た.

実習書のオンライン化に対する評価を図 1, 2 に示す. 2021 年度も半数以上が使いやすいと評価し, 分布には差があるように見えたものの, 平均は 7.14 で昨年の 7.31 とほぼ同じ評価点で統計学的な有意差もなかった. 今年度はオンライン授業が日常化し, 学生がシステムに慣れたことがうかがわれた.

9. 実習書をmanabaにアップしていますが, 使いやすさを評価して下さい
43件の回答

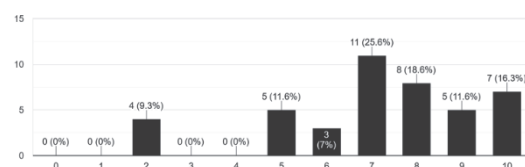


図 1: Manaba の使いやすさの評価

2021 年度学生: 夏季休暇前

8. 実習帳をmanabaにアップしていますが, 使いやすさを評価して下さい
33件の回答

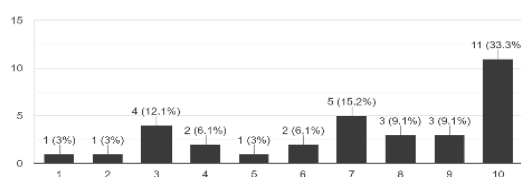


図 2: Manaba の使いやすさの評価

2020 年度学生: 夏季休暇前

2021年度のデモの様子(図3)を示す。教員1名が前方でデモを行い、他の教員は撮影や準備を手伝い、学生は自席でモニター画面でデモを見る方式である。2021年度は高評価ではあるものの平均:8.28(図4)であり、2020年度の平均:9.07(図5)より評価は下がり、Mann-WhitneyのU検定で $P < 0.05$ で有意な差を認めた。評価理由に2020年度と2021年度に差がないことより(図6.7)、ビデオデモが他の実習においても取り入れられ、ビデオデモが通法となってきたため、評価が下がったのではないかと考える。



図3: 2021年度の実習風景(デモ実施時)

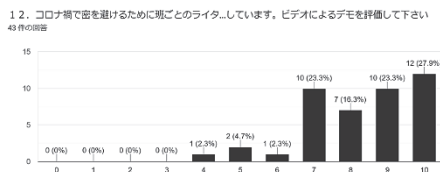


図4: ビデオによるデモの評価
2021年度学生: 夏季休暇前

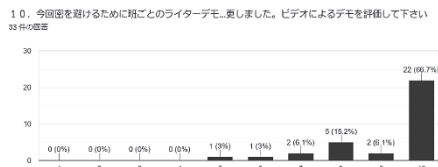


図5: ビデオによるデモの評価
2020年度学生: 夏季休暇前

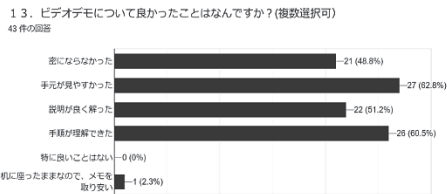


図6: ビデオによるデモの評価理由
2021年度学生: 夏季休暇前

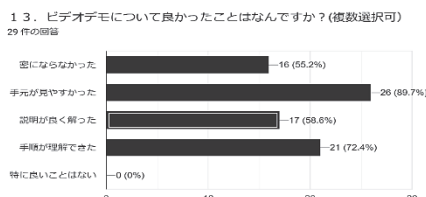


図7: ビデオによるデモの評価理由
2020年度学生: 夏季休暇前

また、録画した映像をデモとして利用した場合とライブ映像の比較は、昨年度同様に判りやすさや臨場感から、ライブ映像のほうが良いと67%が回答した。

今年度追加した歯型彫刻のビデオについては、必須としていなかったため、約半数の視聴に留まった(図8)。視聴した学生の69.6%は役に立ったと回答したが、視聴しなかった学生は視聴しなかった理由を、不要と思った、知らなかった、時間がなかったと回答した(図9)。ビデオの視聴

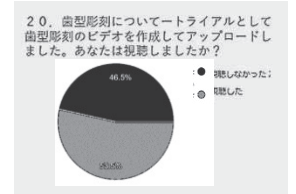


図8: 歯型彫刻の視聴

21. 視聴した方にお尋ねします。視聴した感想を教えてください。(複数回答可)
23件の回答

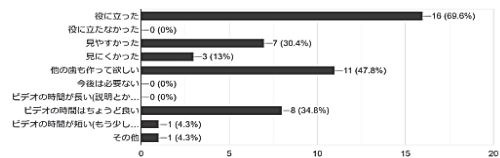


図9: 視聴した学生の感想

2021年度学生: 夏季休暇前

COVID-19 対策に対する評価は、初回、夏期休暇前共に平均:7 前後の評価であった。マスクやフェイスシールドや換気については対策が出来ていたと評価したのに対し、学生間の距離や手指衛生は対策が出来ていなかったと評価していた。学生の密を避けるのは難しく、さらなる対策が必要であることが明らかとなった(図10, 11)。

17. 本実習のコロナ対策について、対策は出来ていたと思いますか? 10段階で評価してください。
49件の回答

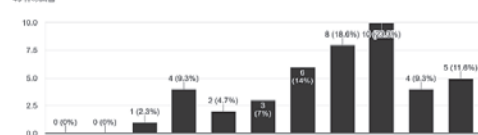


図10: COVID-19 対策に対する評価

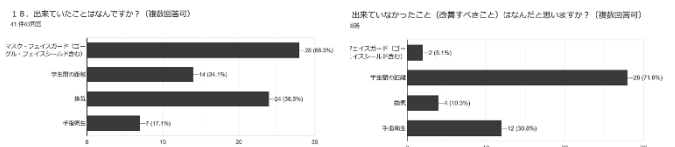


図11: COVID-19 対策で出来ていたこと(左)と出来ていなかったこと(右)

5. まとめ

歯科補綴学実習では、知識のみでなく、技能や暗黙知を伝える必要がある。本アンケート結果を反映し、COVID-19 対策や指導方法に改善を加え、学生の教育を行っていきたいと考えている。